

細見美術館

特別展 待合掛 —茶会への誘い 春夏秋冬—

—特別展示— 重要文化財 豊公吉野花見岡屏風

平成22年 4月17日土—5月30日日



主催 細見美術館

休館日 毎週月曜日(但し、5月3日は開館)、5月6日

開館時間 午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)

入館料 一般 1000円(800円) 学生 800円(600円)

※()内は20名以上の団体料金

会場 細見美術館
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
075-752-5555
<http://www.emuseum.or.jp>

ご優待
一般/1,000円→800円 学生/800円→600円
本紙にて4名様まで200円引。

木 HOSOMI MUSEUM
<http://www.emuseum.or.jp>

待合掛 —茶会への誘い 春夏秋冬—

平成22年4月17日土—5月30日日



鈴木其一 白桔に茶碗花鉄図

夏



深江芦舟 立葵図

春

冬



酒井抱一 雪牡丹図



鈴木守一 楓松図

秋



鈴木守一 秋楓図

Evoking Chanoyu; Seasonal Paintings of the Waiting Room

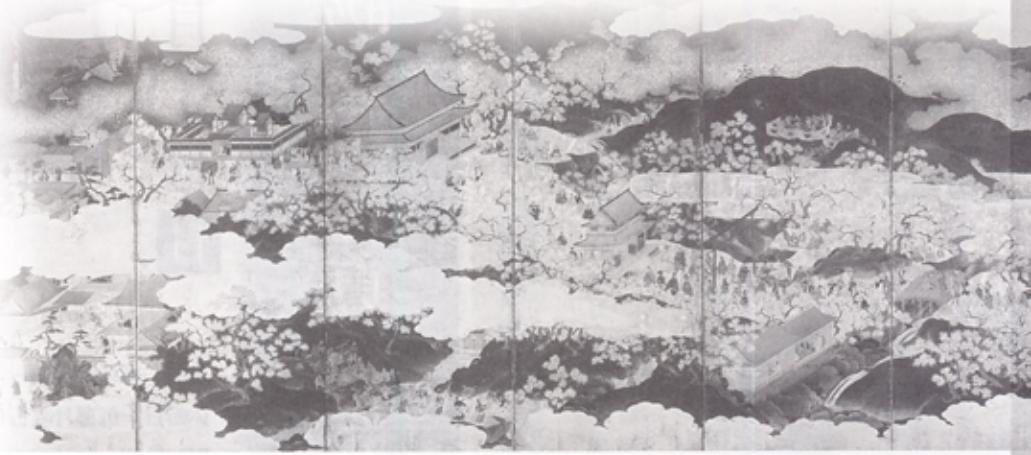
<表面>

右から
尾形光琳 柳図香包
俵屋宗理 朝顔図
鈴木其一 桢に鶯図

茶の湯の世界では、お茶会の前にお客様が集まる控室のような場所を「待合」といいます。この待合に掛けられているお軸は「待合掛」と呼ばれ、その日の茶会が始まるまでのひととき、この待合掛を鑑賞しながら、その日のテーマに思いを馳せるのです。

本展では、茶事茶会へ誘う四季折々の「待合掛」に焦点を当てると共に、数寄者古香庵が愉しんだ道具組や、春の茶の湯の風景も描かれた重要文化財「豊公吉野花見図屏風」を併せて紹介します。

特別展示 重要文化財 豊公吉野花見図屏風(左隻)



細見美術館
<http://www.emuseum.or.jp>

- 市バス「東山二条」下車 徒歩3分
 - 市バス「京都会館美術館前」下車 徒歩5分
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩10分
- ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

会期中のイベント イベントは、事前申込制・有料。詳細についてはホームページにて公開。

■お花入門

「季節の花かざり～初夏篇・ギフトアレンジメント～」
5月28日(金)・29日(土)

■古香庵茶会「琳派茶会」

4月23日(金)・24日(土)

次回展
予告

陶磁器に出会うⅣ
中国の小さなやきもの
—美は掌中に在り—

平成22年
6月5日土
～7月25日日

